

令和5年度学校関係者評価報告書

虹の原特別支援学校壱岐分校

1 評価の方法

- (1) 4名の学校関係者評価委員を対象に紙面によるアンケートを実施
- (2) 評価の基礎となる資料
 - ① 学校評価結果（職員による自己評価及び保護者による評価）
 - ② 学校関係者評価委員会における学校評価にかかる説明及び今年度の学校の取組に係る報告

2 実施期日

令和6年2月22日（木）

3 学校関係者評価委員による評価

(1) 評価基準

4: 適切である 3: ほぼ適切である 2: やや適切でない 1: 適切でない

(2) 評価結果

1 学校・各部等の重点目標や自己評価の評価項目は適切であるか。	評 価
・実態を踏まえた重点目標や評価項目の設定がなされており、適切である。	4.0
2 自己評価内容及びアンケートの評価結果は適切であるか。	評 価
・子供の成長を確認できることは、親としての喜びであり、将来への道筋を考えられる助けとなっていることが、記述内容を見てもうかがえる。 ・自己評価の内容やアンケートの評価結果も公正かつ、真摯に検討されており、適切な評価がなされている。	4.0
3 自己評価結果を踏まえて、今後の改善に向けた姿勢が感じられるか。	評 価
・問題点を整理して、解決策を見付けて対応をしている。 ・十分に感じられる。	4.0
4 学校は運営や教育活動、教育環境の充実に向けてよく取り組んでいるか。	評 価
・施設改善等、予算が付かないと先に進まないというところであろうが、そこを皆で対応策を共有し、工夫して解決していこうという姿勢は素晴らしい。 ・よく取り組まれていることが分かる。	4.0
5 総合評価について	評 価
・アンケート結果の記述部分にあることが全てを語っていると思う。子供が育つ（変わる）と、親も変わる。逆もしかり。自分の子供だけでなく、他の子、社会へと広く目を向けられるようになってほしい。 ・学校の教育目標の具現化に向けての誠実かつ、一生懸命の取組がなされていることがよく分かる。今後もこのまま継続して取り組んでいってほしい。 ・子供たち一人一人のことを考えて工夫している。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、学校の活動も活発になり、充実した取組ができてきたと思われる。	4.0